

審 議 会 等 会 議 録

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
<p>司会 (森下主幹)</p>	<p>1 開会</p> <p>第8回会議の開催を宣言し、委員総数20人に対し、出席者は、18人であるため、「久喜市立小・中学校の統廃合に伴う新校設立準備委員会設置要綱」第6条第2項に規定する会議の開催要件を満たしていることを報告。</p> <p>また、本日の傍聴者はいないことを報告。</p>
<p>司会 (森下主幹)</p>	<p>2 あいさつ</p> <p>次に、内田委員長にごあいさつをお願いします。</p>
<p>内田委員長</p>	<p><内田委員長あいさつ></p>
<p>司会 (森下主幹)</p>	<p>3 議事</p> <p><議事に入る前に前回議事録について確認></p> <p><修正等なしの発言あり></p> <p>修正点等がないようなので、議事録をホームページに掲載していく。</p> <p>また、今回の会議については、後日まとめたものを委員に郵送し、委員の皆様にご確認いただいたうえで議事録をホームページに掲載したいと考えているが、いかがか。</p>
<p>司会 (森下主幹)</p>	<p><異議なしの発言あり></p> <p>続いて、議事に入る。内田委員長が議長に就任する旨の報告。</p>
<p>議長 (内田委員長)</p>	<p>議長に就任。</p> <p>本日の議事として、(1)江面小学校における校章・校歌の検討について、総務部会長より説明を求める。</p>
<p>総務部会長 (岡野幸雄副委員長)</p>	<p><総務部会長報告></p> <p>令和3年3月9日に第7回の総務部会を開催し、部会員8人中、委員全員が出席したほか、オブザーバーとして、石川校長先生・朝武校長先生に出席していただき、協議を行った。</p> <p>新校の校章・校歌については、前回の準備委員会において、「江面小学校で校章・校歌を制定する際に、スムーズに検討が進められるよう、検討委員会などの組織の内容について検討する」こととなっていた。総務部会では、3月9日の会議において、事務局から検討組織の内容やスケジュールの素案が提示され、その内容について検討したほか、今後の方向性として、校章や校歌の制定に係る考え方について意見交換を行った。</p>

検討組織の設置については、事務局提案のとおり、「校章・校歌検討委員会」を設けることが望ましいという意見が多数であった。また、校章や校歌の今後の方向性については、委員の皆様それぞれの立場から、「現在の校章・校歌を生かしていきたい」という意見や、「新校の発足ということを踏まえ、新たに検討したほうがよい」といった意見があった。

校章・校歌に係る対応方法としては、「検討委員会を組織して協議を進め、結果については学校運営協議会に諮ったうえで、江面小学校において制定する」ことが望ましいと考える。

この点については、意見交換した考え方を新校や（仮称）検討委員会に対して、どのように引き継ぐのか議論となったが、事務局の提案により、本日の議題（3）にある「検討結果報告書」の中で、趣旨を盛り込む方向となった。

以上について、本日は全体会議の中で、委員の皆様にご協議をいただきたい。

（仮称）検討委員会の案の詳細については、事務局から補足の説明を求める。

事務局

（目黒補佐）

<事務局補足説明>

令和3年度から「（仮称）久喜市立江面小学校 校章・校歌検討委員会」を江面小学校に設置するという方向性を、当準備委員会からの提案とする。

検討委員会の庶務など運用については、江面小学校にて行い、教育委員会としては、先進事例の調査や校章のデザイン・校歌の作成依頼先などに関する情報提供やアドバイスをを行うほか、校章・校歌の制定にあたって必要となる予算等の対応といった部分で、学校を支援していきたいと考えている。

次に、（仮称）検討委員会の概要を説明する。検討委員会は、校章・校歌に関して円滑な検討を進め、早期に制定する目的で設置するものである。役割としては、校章・校歌の制定に関して必要な事項を協議・検討し、その結果を江面小学校長に報告するものである。委員の任期は2年間とし、検討委員会には、委員長及び副委員長を1人ずつ置き、会議において委員の互選によって決定する。

また、初回を除き会議は委員長が招集し、委員長は検討において必要な者を会議に招集することができるものとする。

具体的な規定については、会則【案】に整理させていただいた。内容は、ただいまご説明した趣旨について記述しているものである。

続いて、江面小学校校章・校歌の検討スケジュール【案】について、校章や校歌を新たに制定することとなった場合、相応の時間を要するものと見込まれる。概ね2年間のうちに制定できるようなスケジュールを想定して作成した案である。検討委員会の発足については、開校直後の学校のスケジュールなども踏まえて、概ね本年5月末ぐらいまでに行い、6月以降からは、検討委員会の会議等を開始する。検討にあたっては、子どもたちからアイデアを集める期間や、関係の保護者・地域の皆様などからご意見を集める期間を設け、それらを踏まえて作成した案を令和4年度に決定する。その後、学校運営協議会に諮ったうえで、校章・校歌を決定するという流れとなるが、校章については令和4年5月頃、校歌については9月頃の決定を見込んでいる。

また、教育委員会では、これらの制定に向けた動きを踏まえ、校歌の作成に係る費用や、校章決定後に校旗・体育館の幕などを作成する費用等について、市当

	局に必要な予算をお願いし、円滑に準備が進むよう支援していく。
議長 (内田委員長)	<p>総務部会における協議結果の報告があったほか、その内容を踏まえた対応方法等の案が資料のとおり示された。</p> <p>只今の報告・説明や、内容について、ご意見・ご質問等があるか伺う。</p>
岸田委員	<p>検討委員会の庶務は江面小学校において協議するとのことだが、その体制はどのようなになっているのか。要は、校長先生や教頭先生が別で委員になると、庶務の方がいらっしゃるということか。多分事務量がかなり多くなると思うので、学校への負担が厳しいのではないか。その点はいかがか。</p>
議長 (内田委員長)	<p>その点、事務局、学校の負担等はいかがか。</p>
事務局 (目黒補佐)	<p>事務量としては、様々な課題があると想定している。令和3年度に入った後も、再編係としては学校統廃合に関する全体的なことで対応させていただいているところもあるので、例えば、この準備委員会のなかで培ってきた資料、ノウハウを学校と連携しながら提供させていただき、円滑に事務が進められるよう支援してまいりたい。</p>
議長 (内田委員長)	<p>教育委員会からご支援いただけるとのことだが、いかがか。</p>
岸田委員	<p>わかりました。それであれば結構だと思う。</p>
議長 (内田委員長)	<p>ご意見等ありがとうございました。</p> <p>さて、先ほどの総務部会長からの報告では、校章や校歌の制定に関する考え方について意見交換を行い、その趣旨はこの後の議題にあります「検討結果報告書」に記述するというお話があったと思う。議事の内容としては前後するが、その内容について、事務局から説明を求める。</p>
事務局 (目黒補佐)	<p><事務局説明></p> <p>校章及び校歌について、という項目を設けており、「校章及び校歌に係る今後の検討に関しては、統合に関わる両校の校章及び校歌の経緯などを踏まえて、良い部分は生かしてほしいといった意見や、統合による新たな学校が設置されるという趣旨を踏まえて、新たに校章及び校歌を検討したほうがよいといった意見がありました」という表現でまとめさせていただいた。</p>
議長 (内田委員長)	<p>ただいまの部分も含め、校章・校歌に関する内容は、当準備委員会で制定まで至らなかったことから、江面小学校に提案といった形で申し送りにすることとなる。</p> <p>提案内容について、総務部会長や事務局から詳細に至る説明があったが、その内容について、ご意見やご質問等があるか伺う。</p>
金子委員	<p>新6年生の保護者の方からの意見なのだが、卒業アルバムには校歌や校章が入っていると思うが、新6年生はないのか、という保護者の意見をいただいた。その点はいかがか。</p>

また、卒業アルバムの作成時期や作成期間について確認したい。

江一小校長
(石川委員)

年度初めにアルバムを作るかどうかの話し合いをPTAの皆様とさせていただいた後に作る。業者を依頼するにあたっては、いくつか見積を取らせていただき、その中からこの写真屋にお願いをしたいということで話が始まっていく。その際に、これまで取り集めたもの等もご活用いただけるのかとの確認をさせていただいている。卒業式まで入れてのお渡しが6月になる。そのための積み立てをしておりますので、3月31日に積立金については、アルバム代を除いたすべてのものについて返金する、あるいは使わせていただくなどの手続きをとり、アルバム代だけ学校で預かせていただき、アルバムが届いたと同時にお支払いをさせていただくとのこと、卒業までにご了解をいただいている流れになる。

江二小校長
(朝武委員)

来年度の卒業アルバムを作成するというを想定したときに、6年生の担任の先生と学校側がどのように進めるかというところで考えたときに、来年度については難しい。よく考えて作成していかなければならないだろうなということが考えられる。当然、いままでの1年生から5年生までの撮りためた写真が両校にあるわけですから、そのなかからピックアップしていくということもありますし、校歌・校章のことも出てきますので、そのことについては、子どもたちとよく相談して「どういうふうにするか。」、そしてそれを保護者の了解を得たうえでやっていくという形がより望ましいのではないかと考えている。

例えば、両校の校歌・校章を載せるということもありますし、いままで撮りためた写真もどのくらいの割合で載せていくのか、当然子どもの人数も違いますけども、そういうことも考えたうえで学校側におまかせいただき、保護者にもご理解をいただくという形で進めていくのが望ましいと思う。

事務局に作っていただいた「江面小学校の校歌・校章のスケジュール」の2年間の計画を1年間にするのは難しいと感じるので、この案はこれで進め、来年度、再来年度については逐次ご相談させていただきながら進めていくのが望ましいと思う。

議長
(内田委員長)

只今、2人の校長先生のお話を総合的に考えると、新たな学校ができてから、保護者等とご相談しながら、また教職員と熟議しながら作成していくということである。その中で、5月がスケジュール【案】では校章の完成時期となるが、この5月では当然3年度の卒業生にはつかない。その辺も含め、どのように新校が開けてから作成していくのか、その辺は学校で検討いただくということです。

事務局
(目黒補佐)

スケジュールに関して補足説明。

スケジュールの時期の考え方について、校章が令和4年5月頃とさせていただいた理由だが、先日、新入学説明会にお伺いした際に、体操着のプリントの目安を令和4年度の夏頃という話があったので、そこから逆算して間に合うように5月頃と記載させていただいた。その間、検討期間が約半年あるが、学校の事務負担を含めて5月頃とした。アルバムの例もあったが、少なくともこの時期までに決めておいたほうがよいというものがあれば、スケジュールについては適宜調整できるものと考えている。

議長
(内田委員長)

それでは、江面小学校における校章・校歌の検討については、事務局原案のとおり、当準備委員会の提案という形で、検討体制の案や考え方などを検討結果報告書に書き示すということによろしいか伺う。

<異議なしの発言あり>

議長
(内田委員長)

ありがとうございます。

続いて、「(2) スクールバスの運行内容について」を議題とする。この点については、バスの試験運行などを行ったところ、案の修正などが生じたと伺っている。

はじめに事務局から内容について説明を求める。

事務局
(目黒補佐)

<事務局説明>

事務局では、令和3年に入り、スクールバスを実際に運行するための準備を進めるため、学校や業務委託の受注業者と協議を重ね、これまでの案を具体化するための対応を進めた。

こうした中、スクールバスの試験運行については、保護者からの要望も踏まえながら、2月15日(月)に保護者及び児童を対象とした体験乗車、3月12日(金)に児童を対象とした登校リハーサル、同じく15日(月)に下校リハーサルを実施した。

また、リハーサルに先立って、児童が乗り降りするバスの停留所には、高さ180cmほどの標識を1台設置するよう準備を進めた。こうした調整の中で、スクールバス運行の概要や経路図に一部修正が生じたので、報告する。

まず、下校時第2便の運行時刻である。学校に確認したところ、江面小学校の最終下校時刻案は15時40分になる予定とのこと、主に高学年の下校となり、冬季期間の日没が早い時期などを考慮し、下校時刻からバスの出発時刻までの間を詰めたほうがよいとのことから、下校時第2便のバス出発時刻は、10分間繰り上げ、15時50分とした。

次に、経路に関し、試験運行の際にマイクロバスを走行させたところ、原・樋ノロルートのうち、原地内の一部で道路が狭く運行が困難な箇所があったため、E地点に向かう笠原用水路付近の経路と、F地点を過ぎて県道上尾久喜線に向かう経路の一部では、より通行しやすい経路に改めたものである。

次に、停留所の位置である。停留所の標識設置にあたりましては、道路を管理する杉戸県土整備事務所や市の建設部などと協議のうえ、その許可等をもって設置するのですが、許可等に当たっては、設置箇所の地先の地権者に標識設置について了承を取ることなどの条件が挙げられていた。

事務局では、受注業者と連携して調整を行ったところ、除堀ルートの②、原・樋ノロルートのA・F地点において、概ね20mから30mの範囲内で設置箇所の移動を行う必要が生じた。移動先の地点については、当該箇所を利用する児童の保護者に個別に説明して了承を得た上で、移動先の地権者の了承をもって決定した。資料5の運行経路図は、この内容を反映した形で作成している。

次に、資料6について、事務局では、学校の協力もいただき、スクールバスの運行及び利用に関する要綱の規定に基づき、関係の保護者からスクールバスの利

用申込をいただいた。その内容をまとめた結果が資料6であり、除堀ルートは26人、原・樋ノロルートは21人の児童が利用する予定となった。

最後に、資料4の裏面について。スクールバスの運行に係る業務委託について概要を記述しているが、このうち、下から3番目の乗務員等について、保護者からの要望を踏まえ、市の会計年度任用職員という形でバス添乗員の配置を進めているが、学校の課業がある平日の週5回、早朝及び日中午後の中途半端な時間に勤務となるため、現時点でも従事する希望をいただいている方がおらず、配置予定の人数の4人を確保できていない状況である。

4月8日の始業式から添乗員を配置できるよう、教育委員会としてもギリギリのタイミングまで任用手続きに係る事務を先伸ばして対応しているが、今のままでは人員が不足したままとなってしまう恐れが生じている。

委員の皆様におかれましては、残された日数もわずかというところでございますが、お近くの方や地域のお知り合いの方にご協力いただける方がいないか、ぜひご相談くださいますようお願いする。

また、配置予定の人数を4人と申し上げたが、やはり週5回はなかなか厳しいと思う。場合によっては4人以上人を増やして、例えば、5とか6人とかでローテーションを組んで配置するというのも考えているので、その辺も踏まえてご協力いただける方がいたらご紹介をお願いします。

議長

(内田委員長)

ありがとうございます。

ここまでの事務局の説明に関して、通学・PTA部会長から報告事項があるか伺う。

通学・PTA部会長
(朝武委員)

<通学・PTA部会長報告>

ただいま事務局から説明がありましたが、令和3年に入ってから、1月23日(土)には、保護者を対象として「スクールバスの利用に関する説明会」を江面第二小学校で行っていただいたほか、月に1回の頻度で学校、教育委員会及び業務委託受注業者の三者で協議する機会を設けていただき、バス運行の詳細を詰めました。また、試験運行については、保護者の要望にも迅速に対応していただき、2月と3月に体験乗車や登下校のリハーサルを実施することができた。

学校においても、バスの座席順を予め決めておくとか、子どもたちに対して乗り降りに関することを十分に指導するなど、様々な準備を行ってまいりましたが、その結果、登下校のリハーサルについては特段のトラブルもなく、スムーズに実施することができたと感じている。

スクールバスに関しては、登下校リハーサルの状況等を踏まえ、登校当日に急遽欠席となる場合の対応や、子どもたちの荷物が多い月曜日の登校時や金曜日の下校時における、バス車内での荷物の持ち方などについて、保護者からいくつか意見が出ていと聞いている。この点については、事務局と調整し、今週の終業式までに保護者へお知らせを配布して、説明する予定である。

議長

(内田委員長)

ただいまの説明や報告について、ご意見・ご質問等があるか伺う。

清水委員

添乗員のタイムスケジュールや就労内容はどのようになっているのか。

事務局
(目黒補佐)

現在、市のホームページでは周知させていただいているが、小学校の安全監視員の一環として江面小学校スクールバスの添乗員ということで、登校2人、下校2人ということで記事を掲載している。令和3年2月末、3月の頭と2回出しているが集まらず、現在3月末までの期間でもう一回記事を載せている。

検索方法としては、市のホームページで、用語検索等で「小学校安全監視員」という文字を入れていただければ検索はできると思う。

口頭で概要を申し上げますと、まず登校については、朝の7時にさくら観光バスの事業所の敷地に出勤していただき、バスを出す準備をした後に、そのまま7時20分を目指して各ルートがバスが行く。7時50分には農村センターに到着して子どもを安全に降ろしてから、さくら観光バスの事業所に戻る。最後の片づけや乗車リストの確認など事務的なことを済ませ、朝は9時で終わり。2時間という予定である。

下校については、通常の場合だと、午後2時にさくら観光バスの事業所に出勤し、2時半を目安に農村センターに配車。3時に出発をして、下校は2便、1回ルートをまわり、また農村センターに戻り、もう1回まわるという流れになる。最終的に子どもを降ろして、4時半過ぎにさくら観光バスの事業所に戻り、片付けと翌日の準備をして5時に終了。下校は3時間勤務となる。

岸田委員

ひとつよろしいでしょうか。地元の方が一番いいというのは私もわかる。地元であって、定年退職して、ここにいる区長さんとかいますよね。そういった方が協力できるのか。

さくら観光バスまで行くと時間がかかるので、最初に乗る時間は、子どもたちが乗る時間でセットしてそこで集合するなど、そういう考え方はできないか。要は、子どもと一緒に行くということであれば、最初の乗り合いのところに行ってそこから乗る。下校時は仕方がないですから、さくら観光に行く。時間的なことについて、考え方を整理していただいたほうが良いような気がする。

それと、先ほども言ったが、地元の安全監視委員の方が一番良いので、地元の区長に協力いただき、回覧を配るといった方法で募集するとか、PTAの役員に協力いただくとか、いろいろな方法を考えて子どもの安全を守ったほうが良いと思う。

議長
(内田委員長)

本日、ご出席していただいた方には区長会の方がおられると思いますので、そういった機会にぜひご案内していただけるとありがたいと思う。

また、勤務実態を残すという意味では、子どもたちとの乗り降りは難しいわけですね。その点、事務局はいかがか。

事務局
(目黒補佐)

最初に乗る場所に駐車できる場所がなかったりだとか、目印がなかったりだとか、なかなか従事する方がその場に行ってそのあと帰るといったことが困難になることが想定されたため、バス会社の事業所に想定して考えさせていただいた。

今後も受注業者と相談しながら、一番いい運用を調整させていただければと思う。

伊勢委員

昨年、区内の方に「添乗員を募集してますよ。」と声を掛けたが、いまだ回答がないようである。

金子委員	安全監視委員に準ずるとのことで、誰でもはできないですよ。
事務局 (目黒補佐)	安全監視員は警察の経験がある方や、ある程度見回り等に精通した方を配置しておりますが、この中身はあくまでバスの添乗員であるので、そういった要件は考えていない。むしろ、ちっちゃい子どもたちの案内ということもでたりするので、お子様が好きな方や子どもの目が行き届く方が務めていただいたほうがよいと考えている。
朝武委員	よろしいでしょうか。ネックなのは勤務が毎日ということと、朝7時から9時ということ。事務局の話では、朝2人、午後2人を増やす可能性があるとのことであつたので、例えば、朝の方が3人いれば休みが取れるということになる。学校は200何日間あるから、200何日間毎日7時ってというのはきついと思う。それでも当然、年休とかがあって添乗員さんがいない日っていうのもありだとは思いますが、「ある程度交代して勤務ができる」ということを、例えば、本日PTA解散総会があるが、その場で宣伝したい。そうしないと、バスの添乗員なしでのバス運行は心配であるので、そのように説明してもよろしいか。
事務局 (目黒補佐)	定数を4人としていましたが、人数を5人以上に増やしてしてローテーションするというのが現実的なのだろうと考えている。 そうなったときに市で問題となるのが、予算と人事の任用の件である。その問題があつたため関係課と確認したが、担当者の見解によると、そもそも必要な任用職員を条件が合わなくて配置できないというのでは本末転倒であるので、その点は本給の予算を超えない範囲であれば当初予定していた人数と変更があつても差し支えないという見解をいただいているので、例えば、5人とか6人とか人数をお願いしてローテーションを組むということは可能であると考えている。
金子委員	添乗員の任期はあるか伺う。
事務局 (目黒補佐)	会計年度任用職員の任期は、基本的に1年度単位となる。 また、令和4年度以降の配置につきましては、実際にバスが運行し、子どもたちの慣れの状況等を確認しながら、令和4年度以降の予算については検討してまいりたいと思う。
議長 (内田委員長)	ご意見等ありがとうございました。 江面小学校のスクールバスは、いよいよ運行に向けて具体的な姿が見えてまいりました。事務局からお話を伺っておりますが、運行に導入する車両は2台とも新車で、安全面についても、最新の装備を搭載したものになっているとのこと。 ところで、先ほど保護者のご意見等を踏まえ、今週中にも説明資料を配布するとのことであつたが、内容はどのようなものとなるか事務局より説明を求める。
事務局 (目黒補佐)	<事務局説明> 主な内容としては、学校と調整したうえで、「欠席となる場合の欠席届の提出」や、「当日急遽お休みしなくてはならなくなった場合の緊急的な連絡方法」、「スムーズにバスを乗り降りするため、荷物等に関する持ち方やまとめ方」などについて、いくつかの留意事項を簡条書きにした資料を作成し、出来る限り3月25

日を目途に、学校を通じて保護者の皆様へ配布したいと考えている。

また、この際には、本日の会議でご覧いただいている資料4から資料6の内容に関して、最終的なものとして資料を用意し、併せて保護者の皆様にも配布する考えである。

なお、新入学児童の保護者については、学校を通じて配布することができないため、該当のご家庭に郵送して配布できるよう手配する考えである。

議長

ありがとうございました。

(内田委員長)

ただいまの説明について、ご意見等はあるか伺う。

清水委員

実際この間、リハーサルを行ったときに、お話ではランドセルを前に置いてシートベルトをするとお伺いしていたが、子どもは「ランドセルをしたまま乗ったよ。」と話していた。これはいったいどちらに決まるのか。そういったお話を聞いていなかったのので、実際にリハーサルではどのような状態だったのか、お話ししたい。

江二小校長

(朝武委員)

よろしいでしょうか。子どもたちは荷物をおろして前に置くよう指示をしていたが、「背負ったままのほうが楽だ。」という子どもがいっぱいいた。思っていたより時間もあっという間に学校に着くので、「重いからおろせば」と言ってもおろさない子もいた。どちらにしても、最終的に安全を考えたときに、シートベルトはするということが大前提で、荷物についてはかばんを基本的には前に置くことを話しているが、背負ったままのほうが楽な子がいると統一感がとれるかどうかというところなのだが、おろして前に置いたほうが大変という意見もあったが、基本はおろして体の前に置く方向で考えている。

議長

(内田委員)

かばんをしているときのシートベルトのゆるみとかばんを外してシートベルトをしているときのゆるみというのは、安全上問題になる可能性があると思う。要するに、ゆるみが少ないと、万が一衝突時にグッとベルトが締まるのが早い、ところがゆるいとスーッと前にでてキュッと締まるというような想像をしてしまうのですが、いかがか。

事務局

(目黒補佐)

一度伸ばして離すと自動で巻き取ってロックがかかる。一度引っ張って放してそのままスーッと巻き取られれば、自動でロックがかかる。それが嫌で、手でかけて伸ばしてゆるくしていると駄目だが、ちゃんと手を放していれば自動で巻き取られてしまうので、その瞬間でロックがかかる。変に物を入れて空間を作ってしまうと駄目、例えば、クッションを置き、膨らみをつけて、肩が当たらないようにしてしまうと効果が弱くなる。シートベルトをして、その前にランドセルを置かないと駄目である。ランドセルの上からシートベルトをかけてしまうと、シートベルトごとキュッとくるので、服が圧迫する。お子さんが勘違いしないように、シートベルトをしてから足の上にランドセルを置くように指導することは必要であると思う。

早川委員

話が変わるのだが、江面第二小学校の子どもは縦型の名札をもらえるとのことだが、江面第一小学校の子どもはいただけないのか。

江一小校長

先日、教育委員会から紙の名札をいただいたので、今年度中にお配りする。

<p>(石川委員)</p> <p>江二小校長 (朝武委員)</p>	<p>スクールバスのリハーサルを行ってみて、子どもたちに危惧されることが1個あったのは、体力面について、毎日いままで1キロなり、何百メートルなり歩いていた子どもが、ほとんど歩かなくなる生活を来年度から送るのだらうと思う。そのためには、新しい学校では、やはり極力運動習慣をつけないといけないと思う。</p> <p>自宅に近いバス停の方もいらっしゃるの、ほとんど歩かないだらうということ、スクールバスのリハーサルを体験して感じた。</p>
<p>江一小校長 (石川委員)</p>	<p>事務局にお願いしたいことが2点ある。1点目は、これまで農村センターから江面第一小学校の学校に向かうフェンス沿いのところはグリーンベルト、子どもたちが歩く用のものがない。何メートルでもないが、横断歩道のところに至るまでグリーンベルトを設置していただけないか。</p> <p>2点目は、江面第一小学校の周りは子どもたちが登校する時間帯に7時半から8時半までの間、車両の通行進入禁止区域になっている。ところが、ご存じない方が多いようで、結構な台数の侵入がある。そこで、警察署に年度初めのパトロールをよろしくお願いしたいということをお伝えいただければと思う。</p>
<p>事務局 (目黒補佐)</p>	<p>1点目のグリーンベルトについて、市の建設部の担当と調整という形になるかと思うので、令和3年度の課題ということで相談をさせていただく。</p> <p>2点目のスクールゾーンについては、交通規制の関係ですので、警察の管轄になる。久喜警察署と協議させていただき、安全な見回りという部分で警察にも強化していただくよう伝えたいと思う。</p>
<p>永原委員</p>	<p>リハーサルをして時間的な問題なかったのかということと、一部の保護者から耳にした話だと、自分の子どもがシートベルトをする前に出発してしまったという話を聞いた。しっかりと着席をしてシートベルトをしてからの出発が徹底されているのかどうかの確認をしたい。</p>
<p>事務局 (目黒補佐)</p>	<p>まず、時間的な問題だが、運行したときは比較的道が空いている状況であり、予定していた時刻よりも早いぐらいだったのが実情である。そういった形なので、ある程度渋滞していたとしても7時50分頃までには登校できると見込んでいるので、時刻的な面では課題はないと思う。また、下校時は、目安の時間を入れていますが、日中の交通量が少ない時間だと、到着時間が早まる可能性があるの、保護者の皆様にはご了解いただければと思う。</p> <p>シートベルトの点について、運転手も気が付かなかったのか、大変申し訳ない部分があったと思う。例えば、添乗員を置いて、子どもが座ってシートベルトをしたことの確認を取ってから発車するなど、ルール付けをしておきたいと思う。</p>
<p>永原委員</p>	<p>子どもたちが慣れるまでは、席についてシートベルトをするなど時間がかかると思うので、バスの運行で何分にこのバス停に行かなくてはいけないとかになったときに、通常と違うどこかのバス停で遅れが出てしまったときに、急がなきゃというところから、安全面を怠るようなことになってしまうと危ないので心配</p>

	である。
事務局 (目黒補佐)	あくまで時間よりも安全のほうが優先だと思うので、なんらかの交通事情とか、乗り降りで時間が遅れてしまいそうな場合は、バスのほうから学校のほうに、到着が少し遅れるという話をさせてもらったほうがいいと思う。まずは安全を優先ということが大事だと思う。
岡野達夫委員	添乗員の話に戻って申し訳ないのですが、この金額で朝と晩だとやる人がいないのではないか、大変厳しいのではないかと思います。 4月までに見つからなかった場合は代替案などを考えているのか。
事務局 (目黒補佐)	方法として想定されることとしては、教育委員会の職員で埋められるかどうかというのが1つ。もう1点は準備委員会の皆様をはじめ、今まで関わっていただいた皆様にご協力いただけるかご相談させていただくか、それぐらいしかない状況である。
岸田委員	通常、通学班には班長等がいると思うが、スクールバスの班長等もいらっしゃるか。
江二小校長 (朝武委員)	通学班は作ってあります。
議長 (内田委員長)	他に意見はあるか、バスの内容についてはよろしいか伺う。 <異議なしの発言あり>
議長 (内田委員長)	それでは、この内容で最終的に決定する。通学に関しては、児童の安全に関わりますし、保護者の関心も高いと思いますので、最後まで細心の注意を払って準備を進めていただきたいと思います。ご協力お願いいたします。 続いて、「(3) 検討結果の報告について」議題とする。 本日の会議は、長きにわたった当準備委員会の最後の全体会議になるとのことでございます。これまで委員の皆様にお骨折りいただき、幾度もの熟議を重ねてきた結果について、報告書という形でまとめたたいとの提案を事務局から伺っている。 報告書の案の内容について、事務局から説明を求める。
事務局 (目黒補佐)	<事務局説明> 資料7につきましては、その集大成ということで、ご協議の上に決定された主要な事項について、報告書という形でまとめたものとなる。 内容について、概略を報告する。 <資料7本文に基づき、概略を報告> 最後に、その他として、当準備委員会におけるこれまでの会議等開催経過、最終的な委員の名簿、それから本日の会議でご承認いただいた、(仮称)校章・校歌検討委員会の案の内容、スクールバスの運行内容、学校間でご協議のうえ作成

いただいた令和3年度の江面小学校行事予定表及び日課表の案を付して、報告書とするものである。

なお、本案についてご協議の上、内容をご決定いただきましたら、本日の議事終了後、内田委員長から柿沼教育長に対し、報告書の提出を行う予定である。

議長

ありがとうございました。

(内田委員長)

続いて、学校運営に関する内容について、学校間で調整を進めていただきました。その調整結果について、学校運営部会長から報告を求めます。

学校運営部会長

<学校運営部会長報告>

(石川委員)

関係学校では、新校「江面小学校」の開校後、学校運営が円滑に進みますよう、概ね週1回のペースで協議を重ねてまいりました。その主な協議結果についてご報告する。

学校運営部会では、朝武校長先生と連絡を取る中で、まず一番に大事にしたことは、「子どもたちが来年度になって戸惑わないようにしよう」「安心、不安や心配な気持ちで新しい学校に臨むことができるだけ少なくなるようにしよう」ということを考えた。そして、来年度になってから「元江一小の人」、「元江二小の人」などの言葉を使わないようにするために今できることをできる限り考えた。

大きく分けて2つだが、学校すべての教育活動を見直しました。2校の良さ、これまで積み上げたものを大事にするべきことは継承していく。そして、新しい学校としての視点を入れていく、ということで教育課程すべてを見直した。学校行事も同様である。

2点目については、先ほどお話ししましたように、元江一小、元江二小の子などの言葉を使わないで済むように、Weプランを通して子どもたちに江面第一小学校の施設設備に慣れてもらえるようなWeプランを実施した。学習の規律、欠席届、持ち物、名札、細かなところだが、「起立、気を付け、礼」などのやり方、体操座りのしかたなど、細やかなところまでについてもなるだけ揃えられるものは揃えられるように実施をした。

また、4月の主な行事予定については、現在の江面第一小学校、第二小学校で行っている内容について、両校の職員ですべてが目を通し、もう既に大枠での概要は計画済みである。両校の校長も確認している。

4月に入って、「あれはどうやるんだっけ」、「これはどうやるんだっけ」ということのないように、そして、4月にそのような状態の計画ができていれば、5月からの計画を4月からの新メンバーで検討できるだろう、ということでの取り組みである。

3月1日に教育委員会に来年度の計画について提出させていただきましたことを報告させていただきます。

議長

ご意見等ありがとうございました。

(内田委員長)

記述された内容等について、修正等のご意見はあるか伺う。

<なしの発言あり>

議長 (内田委員長)	<p>それでは、検討結果報告書については、事務局原案のとおり、決定してよろしいか伺う。</p> <p><異議なしの発言あり></p>
議長 (内田委員長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、この内容をもって、後ほど柿沼教育長に報告したいと思う。全体を通して、その他のご意見等があるか伺う。</p> <p><なしの発言あり></p>
議長 (内田委員長)	<p>他にご意見等がないようでしたら、本日の議事を終了し、議長の任を解かせていただく。</p> <p>委員の皆様におかれましては、長きにわたり、ご協力大変ありがとうございました。</p>
4 報告書提出	
司会 (森下主幹)	<p>続いて、報告書の提出に入るが、準備のため暫時休憩とする。</p> <p><暫時休憩></p> <p><教育長入室></p>
司会 (森下主幹)	<p>再開する。</p> <p>それでは、内田委員長から柿沼教育長に報告書をご提出いただきたいと存じます。</p> <p><委員長が報告書のかがみ文を読み上げ、教育長に渡す></p>
司会 (森下主幹)	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここで、報告書をご提出いただいたことにつきまして、柿沼教育長からあいさつを申し上げます。</p>
柿沼教育長	<p><教育長あいさつ></p>
司会 (森下主幹)	<p>委員長、教育長、ご協力ありがとうございました。</p>
5 その他	
司会 (森下主幹)	<p>事務局から案内。</p> <p>今回の議事録は、後日まとめ次第、確認用に委員の皆様へ配布したいと考えている旨を伝える。</p> <p>また、当準備委員会の任期も今月末までということで、委員の皆様におかれましては、ご多忙の中、大変なご苦勞をおかけし、過分なるご協力をいただき、ご協議の結果を報告書という形でまとめ上げることができたこと対し、感謝を述べる。</p>

<p>司会 (森下主幹)</p>	<p>また、感謝状の贈呈などを対応している旨を報告。</p> <p>6 閉会</p> <p>閉会にあたり、岡野副委員長にあいさつをお願いする。</p>
<p>岡野幸雄副委員長</p>	<p><岡野幸雄副委員長あいさつ></p>
<p>司会 (森下主幹)</p>	<p>ありがとうございました。以上をもちまして、久喜市立江面第一小学校と久喜市立江面第二小学校の統合による新校設立準備委員会第8回会議を閉会とする。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>